

令和 2 年度ふるさと創生 N P O 活動応援事業報告書

- ・当報告書は、基金のホームページ等で掲載する予定です。
- ・メールは、wada@mejiron.org まで送付するとともに提出の際は、タイトルを「令和 2 年度ふるさと創生 N P O 活動応援事業報告書」としてください。
- ・写真は、元データも一緒にメールでお送り下さい。

団体名	認定 特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター
<p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <p>権利擁護や成年後見制度について多くの人に周知するためにパンフレットの作成し、行政、包括、居宅、相談事業所、高齢者施設等 1, 090 部配布を配布して周知に取り組みました。</p> <p>7 がつから、支援が必要な方からの申込みで支援がスタートし、自宅への訪問用の電動自転車、見回り状況の記録や資料、パンフレット作成のためのパソコン、支援員が見回り先との定期的・継続的にコミュニケーションを取るための通話料無制限の携帯電を購入しました。</p> <p>生きづらさや困りごとを抱えている方の課題の発見や対応や見守り支援を目的に、申込者 7 人に対して、支援登録者 7 人へお願いし事業を実施しました。自宅で認知症の妻の介護をしている高齢の夫へ、認知症の病状に対する対応方法の説明やアドバイスをおこなったり、訪問入浴を拒否する本人が安心して入浴ができるよう声かけをして、本人と夫が希望する在宅での生活が、安心安全に笑顔で暮らすことができるよう支援を行ってきた。</p> <p>また、ひとり暮らしで物忘れ症状がすすんだ方は、県外に住む息子さんが申立人となって、成年後見人等専任の申立書作成支援に至ったケースがあった。</p> <p>さらに、指導員を委嘱し、支援員への電話の心得、訪問時のマナー、支援の基本指導、記録の指導を行った。また、月に 1 回医療・介護、福祉等の専門職員による講座もおこない、支援者の質の担保・向上を図り、学んだことを利用者や知人、地域へ伝達することにより、より一層、知識が自分雄物になることを伝えていきました。</p>	
<p>2. 事業を実施している様子等が分かる写真を 4 枚以上添付してください。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">      </div>	

3. 来年度以降、事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に、体制や対応をしていくのかについて記載してください。

今後も本取り組みを継続していくことが必要と考えます。

財政面から支援者に謝金を支払っていくことは難しいため、利用者へアンケートとり、有償での利用に切り替える方には、支援者への橋渡しをおこない、支援者には、質の担保を目的に、今後もアドバイスや自法人が開催する研修等への参加の呼びかけをおこなう予定です。また、無償を希望される方には、昨年までおこなっていました自法人事務局から2回/月電話での安否確認とお話しを傾聴するサービスを引続きおこない、必要時は相談を受け、フォーマル・インフォーマルサービスや他機関へ繋ぐ支援をおこなっていく予定です。